

SNS 経由で入手される情報のユーザ間差異の可視化

プロジェクトマネジメントコース・ソフトウェア開発管理グループ 矢吹研究室 1242131 吉野聡志

1. 序論

世界的に人気のある SNS(Social Networking Service) のひとつとして Twitter が存在する。2015 年 6 月 30 日現在、月間アクティブユーザは 3 億 1600 万人である [1]。

Twitter のユーザは「つぶやき」と呼ばれる 140 字以内の短い記事を書き込むことが可能で、また、他の不特定多数のユーザがそれを閲覧することができる。さらに、つぶやきに返信をすることでコミュニケーションが生まれる。他のユーザのつぶやきを追跡することを「フォローする」という。タイムラインと呼ばれる画面には、自分とフォローしたユーザのつぶやきが同一列上にリアルタイムで、時系列に沿って表示される。自分が閲覧していない間もタイムラインは常に流れていき、フォロー数が多いとつぶやきを見逃す可能性が出てくるため、ユーザ同士の密接でない、ゆるいつながりが Twitter 上で生まれるとされている [2]。

SNS の中でもアクティブユーザ数が非常に多く、利用スタイルも多数ある Twitter に対し、ユーザである人々が持っているニーズが何であるかが分かれば、他の SNS との差別化を図りやすくなる。これにより効率的なマーケティングの手法を Twitter 社や、Twitter 上に広告を打ち出す企業に提案できるのではないかと考えられる。

2. 目的

数名の Twitter タイムラインを取得し、各人のタイムライン上に並ぶ単語や、単語同士の結びつきの強さを可視化する。その結果からつぶやきの性質を分析し、各人の嗜好や関心事項と合致するものを見つけ出し、Twitter へのニーズを読み取ることが目的である。

3. 手法

自らが利用するものと、矢吹研究室に所属する 3 年生 5 人の Twitter アカウントのタイムラインを、Twitter の Streaming API を用いて 1 日分取得する。次に、User Local テキストマイニング

(<http://textmining.userlocal.jp/>) を用いて単語の出現頻度をカウントしたり、単語同士の結びつきの強さを可視化する「共起ネットワーク」を表示させ、各人の Twitter タイムライン上にあるつぶやきの性質を可視化する。

本研究を行う過程で User Local テキストマイニングでは不都合な場面が生じたため、形態素解析システムの MeCab を用いて User Local テキストマイニングの分析で行われている処理の再現も試みた。

4. 結果

User Local テキストマイニングによる分析の結果、各人の趣味趣向に関連する単語が多く出現した。それに対し、MeCab を用いて分析したところ、どの人のタイムラインにおいてもより一般的な単語が多く出現し、個人間での違いはあまり大きく現れなかった。

5. 考察

両者における結果の違いは、User Local テキストマイニングを運営する株式会社ユーザーローカルはビッグデータ分析を主とする会社であるのに対し、デフォルトの状態における MeCab は新語や流行語、専門的な単語に弱い傾向があるために現れたものと思われる。

6. 結論

MeCab を用いて Twitter タイムラインを分析し、ニーズを読み取るには、まず新語等の辞書を MeCab に追加し、可能な限りトレンドに追いついていく必要があるといえる。

参考文献

- [1] Twitter, Inc. Twitter, inc. について | about. <https://about.twitter.com/ja/company> (参照 2015-09-16)。
- [2] ASCII.jp. Twitter - 意味・説明・解説 : Ascii.jp デジタル用語辞典. <http://yougo.ascii.jp/caltar/Twitter> (参照 2015-09-23)。